

## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月28日

上場会社名 株式会社 日清製粉グループ本社 上場取引所 東  
 コード番号 2002 URL <https://www.nisshin.com>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 見目 信樹  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務本部広報部長 (氏名) 安達 令子 TEL 03-5282-6650  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月28日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	165,685	5.0	5,186	△16.7	6,463	△11.6	4,333	△2.2
2020年3月期第1四半期	157,819	11.7	6,223	△14.3	7,314	△19.2	4,429	△27.2

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 17,818百万円 (-%) 2020年3月期第1四半期 △5,763百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	14.58	14.58
2020年3月期第1四半期	14.91	14.89

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	678,004	421,604	60.1
2020年3月期	666,215	409,042	59.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 407,218百万円 2020年3月期 394,995百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	17.00	—	17.00	34.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	17.00	—	18.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	345,000	△0.4	11,500	△18.6	12,000	△20.6	7,000	△48.2	23.55
通期	700,000	△1.7	26,000	△9.9	27,000	△14.1	17,000	△24.1	57.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、【添付資料】P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	304,357,891株	2020年3月期	304,357,891株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	7,066,276株	2020年3月期	7,079,592株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	297,284,366株	2020年3月期1Q	297,134,567株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。業績予想の前提条件その他の関連する事項については、【添付資料】P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(2) 決算補足説明資料につきましては、当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	7
(四半期連結包括利益計算書)	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## [当第1四半期の概況]

当第1四半期につきましては、世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、国内外の経済活動は大きく制限され、消費や生産活動の停滞、雇用情勢の悪化等、極めて厳しい状況が継続しました。

このような中、当社グループは、社会的使命である小麦粉をはじめとする「食」の安定供給の確保に最優先で取り組み、また、その使命を支える従業員の安全確保に努めました。各事業におきましては、長期ビジョン「NNI “Compass for the Future”」で描く目指す姿の実現に向け、更なる成長の基盤づくりを着実に進めました。

当第1四半期の業績につきましては、売上高は国内製粉事業における本年1月の小麦粉価格改定や設備工事の減少等の減収要因があったものの、昨年7月に連結子会社化したトオカツフーズ株式会社の新規連結効果等により1,656億85百万円（前年同期比105.0%）となりました。一方、利益面では、新型コロナウイルス感染症拡大を受け、食品需要の内食シフトが起り、家庭用食品の需要が大幅に増加したものの、国内製粉事業の販売収益悪化、及び海外製粉事業の販売低調などによる収益悪化等により、営業利益は51億86百万円（前年同期比83.3%）、経常利益は64億63百万円（前年同期比88.4%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は43億33百万円（前年同期比97.8%）となりました。

(前年同期比較)

(単位：百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	前年同期差	前年同期比
売上高	157,819	165,685	7,866	105.0%
営業利益	6,223	5,186	△1,036	83.3%
経常利益	7,314	6,463	△851	88.4%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	4,429	4,333	△95	97.8%

## [セグメント別営業概況]

## ①製粉事業

(単位：百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	前年同期差	前年同期比
売上高	77,255	68,838	△8,416	89.1%
営業利益	2,074	605	△1,468	29.2%

国内製粉事業につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大を受け、外出自粛等による内食シフトでパスタや即席麺等向け需要は増加しましたが、パンや菓子等の専門店向け需要の減少、営業時間短縮等による外食需要の低迷等により、業務用小麦粉の出荷は前年を下回りました。また、4月に輸入小麦の政府売渡価格が5銘柄平均で3.1%引き上げられたことを受け、6月に業務用小麦粉の価格改定を実施しました。

副製品であるふすまにつきましては、価格は前年並みで推移しました。

海外製粉事業につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により豪州のAllied Pinnacle Pty Ltd.でのプレミックス、ベーカリー関連原材料やタイ、ニュージーランドで業務用小麦粉の販売が低調に推移し、円高に伴う海外事業の為替換算の影響等もあり、売上げは前年を下回りました。

この結果、製粉事業の売上高は688億38百万円（前年同期比89.1%）、営業利益は米国においては販売収益、生産効率改善により増益となったものの、新型コロナウイルス感染症拡大を受け、国内において外出自粛等により販売構成面の影響を受け販売収益が悪化し、また、豪州において付加価値品の販売低調や生産効率悪化に伴い収益が悪化したこと等により、6億5百万円（前年同期比29.2%）となりました。

## ②食品事業

(単位：百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	前年同期差	前年同期比
売上高	54,043	54,760	717	101.3%
営業利益	2,920	4,038	1,117	138.3%

加工食品事業につきましては、業務用製品の需要が前年を大きく下回る中、家庭用製品では、需要の大幅な増加に対応するべく主力品に製造を集中し、また、業務用製品の製造ラインを家庭用製品に転用するなどの増産施策により安定供給体制を整えました。この結果、加工食品事業の売上は前年を上回りました。

酵母・バイオ事業につきましては、製パン用素材等の出荷が減少し、売上は前年を下回りました。なお、インドの子会社であるOriental Yeast India Pvt. Ltd.におけるイースト工場建設工事は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により工事を中断しており、工事再開時期は未定となっております。

健康食品事業につきましては、医薬品原薬及び消費者向け製品の出荷増により、売上は前年を上回りました。

この結果、食品事業の売上高は547億60百万円（前年同期比101.3%）、営業利益は家庭用製品及び医薬品原薬の出荷増、広告宣伝費等の販管費の減少等により40億38百万円（前年同期比138.3%）となりました。

## ③中食・惣菜事業

(単位：百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	前年同期差	前年同期比
売上高	11,494	32,911	21,416	286.3%
営業利益	147	△356	△504	—

中食・惣菜事業につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大を受け、在宅勤務の増加や外出自粛により、都市部及び行楽地を中心に販売が減少したものの、昨年7月に連結子会社化したトオカツフーズ株式会社の新規連結効果により、売上は前年を上回りました。

この結果、中食・惣菜事業の売上高は329億11百万円（前年同期比286.3%）、営業損益は3億56百万円の損失となりました。

## ④その他事業

(単位：百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	前年同期差	前年同期比
売上高	15,025	9,174	△5,850	61.1%
営業利益	1,015	866	△148	85.4%

エンジニアリング事業につきましては、設備工事の減少により売上は前年を下回りました。

メッシュクロス事業につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で世界的に自動車の生産台数が落ち込む中、自動車部品向け等の化成品の出荷が減少し、売上は前年を下回りました。

また、ペットフード事業につきましては、本年3月末の販売事業譲渡後、受託生産のみを継続しており、売上は前年を下回りました。

この結果、その他事業の売上高は91億74百万円（前年同期比61.1%）、営業利益は8億66百万円（前年同期比85.4%）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

(単位：百万円)

	2020年3月期	2020年6月期	前期末差
流動資産	238,980	237,874	△1,106
固定資産	427,234	440,130	12,896
資産合計	666,215	678,004	11,789
流動負債	131,058	125,269	△5,789
固定負債	126,114	131,131	5,017
負債合計	257,172	256,400	△771
純資産合計	409,042	421,604	12,561
負債純資産合計	666,215	678,004	11,789

当第1四半期連結会計期間末における資産、負債、純資産の状況及び分析は以下のとおりです。

流動資産は2,378億74百万円で、受取手形及び売掛金の減少等に伴い、前期末に比べ11億6百万円減少しました。固定資産は4,401億30百万円で、保有している投資有価証券の評価差額金の増加等に伴い、前期末に比べ128億96百万円増加しました。この結果、資産合計は6,780億4百万円となり、前期末に比べ117億89百万円増加しました。

また、流動負債は1,252億69百万円で、支払手形及び買掛金の減少等に伴い、前期末に比べ57億89百万円減少しました。固定負債は1,311億31百万円で、リース債務の増加等に伴い、前期末に比べ50億17百万円増加しました。この結果、負債合計は2,564億円となり、前期末に比べ7億71百万円減少しました。純資産合計は親会社株主に帰属する四半期純利益による増加、配当金の支出による減少、その他の包括利益累計額の増加等により、前期末に比べ125億61百万円増加し、4,216億4百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の影響により、国内外の社会及び経済の先行きは極めて不透明な状況にあります。このような中、当社グループは、主要食糧等の安定供給という社会的使命かつ企業価値の源泉を堅持すべく、事業環境の変化に適合しつつ、長期ビジョン「NNI “Compass for the Future”」の実現に向けて引き続きグループ一丸となって取り組んでまいります。

2021年3月期の業績見通しにつきましては、当第1四半期の業績がほぼ想定どおり推移していることから、売上高は7,000億円（前期比98.3%）、営業利益は260億円（前期比90.1%）、経常利益は270億円（前期比85.9%）、親会社株主に帰属する当期純利益は170億円（前期比75.9%）と、当初予想を据え置いております。

業績見通しの前提としましては、新型コロナウイルス感染症の一時的な拡大と収束が年間を通じて繰り返されつつ、徐々に回復に向かうと想定しており、当社製品の需要も、経済活動の停滞及び再始動のサイクルの中で、中食や外食における食品消費の減少、設備工事の一時的な中断等の影響を受けることが考えられます。引き続き当社グループの事業への影響を慎重に見極め、今後修正の必要が生じた場合には速やかに開示いたします。

当期の配当につきましては、連結ベースでの配当性向の基準を40%以上とし連続増配により配当の上積みを図る基本方針のもと、当初の予想どおり、前期より1円増額の1株当たり年間35円を予定しております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	49,710	58,041
受取手形及び売掛金	92,236	82,345
有価証券	7,523	3,864
たな卸資産	79,854	81,658
その他	10,180	12,441
貸倒引当金	△524	△478
流動資産合計	238,980	237,874
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	69,597	69,134
機械装置及び運搬具（純額）	48,769	49,956
土地	45,791	45,820
使用権資産	23,285	25,688
その他（純額）	21,043	20,678
有形固定資産合計	208,487	211,278
無形固定資産		
のれん	42,743	45,221
その他	25,972	27,219
無形固定資産合計	68,716	72,441
投資その他の資産		
投資有価証券	135,739	142,057
その他	14,416	14,481
貸倒引当金	△126	△127
投資その他の資産合計	150,030	156,410
固定資産合計	427,234	440,130
資産合計	666,215	678,004

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	53,730	49,591
短期借入金	18,078	21,612
未払法人税等	5,829	2,177
未払費用	21,814	17,676
その他	31,605	34,211
流動負債合計	131,058	125,269
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	15,226	15,434
リース債務	30,989	33,645
繰延税金負債	29,055	31,432
修繕引当金	1,335	1,193
退職給付に係る負債	22,443	22,363
その他	7,062	7,061
固定負債合計	126,114	131,131
負債合計	257,172	256,400
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	17,117	17,117
資本剰余金	12,638	12,637
利益剰余金	332,342	331,619
自己株式	△11,172	△11,150
株主資本合計	350,926	350,224
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	56,970	61,782
繰延ヘッジ損益	△53	80
為替換算調整勘定	△11,689	△3,692
退職給付に係る調整累計額	△1,158	△1,175
その他の包括利益累計額合計	44,069	56,994
新株予約権	137	132
非支配株主持分	13,908	14,253
純資産合計	409,042	421,604
負債純資産合計	666,215	678,004



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	157,819	165,685
売上原価	112,954	120,368
売上総利益	44,864	45,316
販売費及び一般管理費	38,641	40,130
営業利益	6,223	5,186
営業外収益		
受取利息	144	53
受取配当金	1,210	1,287
持分法による投資利益	488	456
その他	181	218
営業外収益合計	2,025	2,015
営業外費用		
支払利息	885	665
その他	48	73
営業外費用合計	933	738
経常利益	7,314	6,463
特別利益		
固定資産売却益	24	305
特別利益合計	24	305
特別損失		
固定資産除却損	83	158
事業構造再構築費用	—	113
特別損失合計	83	271
税金等調整前四半期純利益	7,255	6,497
法人税等	2,512	1,964
四半期純利益	4,743	4,533
非支配株主に帰属する四半期純利益	314	199
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,429	4,333

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	4,743	4,533
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,584	4,791
繰延ヘッジ損益	364	140
為替換算調整勘定	△4,315	8,455
退職給付に係る調整額	48	18
持分法適用会社に対する持分相当額	△19	△120
その他の包括利益合計	△10,507	13,285
四半期包括利益	△5,763	17,818
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△6,030	17,258
非支配株主に係る四半期包括利益	266	559

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」第19項の規定により、「中間財務諸表等における税効果会計に関する適用指針」第15項（法定実効税率を使用する方法）に準じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額(注3)
	製粉	食品	中食・ 惣菜	計				
売上高								
外部顧客への売上高	77,255	54,043	11,494	142,793	15,025	157,819	—	157,819
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,216	107	929	5,253	434	5,687	△5,687	—
計	81,471	54,151	12,424	148,046	15,459	163,506	△5,687	157,819
セグメント利益	2,074	2,920	147	5,143	1,015	6,158	64	6,223

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットフード、エンジニアリング、メッシュクロス、荷役・保管事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

前第1四半期連結会計期間において、PFG Topco1 Pty Ltd. を買収したため、同社及びその子会社 (Allied Pinnacle Pty Ltd. 他19社) を新たに連結の範囲に含めております。それにより、連結の範囲に含めない場合と比べ、「製粉」のセグメント資産が116,815百万円増加しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

前第1四半期連結会計期間において、PFG Topco1 Pty Ltd. を買収したことにより、「製粉」セグメントにおいてのれんが発生しております。前第2四半期連結会計期間において、暫定的な会計処理の確定に伴い、のれんは41,101百万円となりました。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額(注3)
	製粉	食品	中食・ 惣菜	計				
売上高								
外部顧客への売上高	68,838	54,760	32,911	156,510	9,174	165,685	—	165,685
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,077	376	1,392	5,846	679	6,525	△6,525	—
計	72,916	55,137	34,303	162,357	9,853	172,210	△6,525	165,685
セグメント利益 又は損失(△)	605	4,038	△356	4,287	866	5,154	31	5,186

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットフード、エンジニアリング、メッシュクロス、荷役・保管事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。